

## \*\*\*\*\* 曲 目 概 説 \*\*\*\*\*

◎ヴァイオリンの為のファンタジイ第1番変ロ長調 / G・F・テレマン  
ラルゴーアレグローグラーヴェーアレグロ（カルロ・マルキオーネ編）  
ゲオルグ・フィリップ・テレマン（1681年-1767年）は、バロック音楽を代表するドイツの作曲家である。生前はバッハやヘンデルより、人気と名声のあった作曲家とされる。12歳でオペラを作曲し始めた神童であり、宮廷楽長や都市音楽監督などを務めた。4000曲以上という膨大な数の作品を残した。

◎リュートの為の2作品 / ジョン・ダウランド

- 1.ファンシイ
- 2.高貴なるロバート卿へのガリアルダ

ルネッサンスイギリ最大の音楽家。1588年にオックスフォード大学で音楽学士となつた。カトリック教徒であったため、イングランド国教会の英國では受け入れられず、ニュルンベルク、ヴェネツィア、フィレンツェなどヨーロッパ諸国を遍歴しデンマークでクリスチャン4世付きのリュート奏者を努めた。1606年にイギリスに戻り、1612年に国王付属のリュート奏者となつた。

彼の曲は、広くヨーロッパで愛好され、多くの作曲家が彼のメロディーを元にして舞曲に編曲している。

◎憂い無く逝く人達へのノクターン / ロルフ・リーム（1937-）

ドイツの大物現代音楽作曲家。  
フランクフルト音楽大学で作曲と音楽理論を教えていた。

◎大聖堂 / アグスティン・バリオス（1885年 - 1944年）

プレリュード・アーダンダンテ・レリギオーゾ・アレグロ・ソレムネ  
バラグアイのギタリスト・作曲家・詩人。

少年時代から音楽と文学に熱中する。バリオスはグラナーニ語とスペイン語の二つを話したが、さらに3つの言語（仏語、英語、独語）を読むことが出来た。十代にならぬうちから楽器に興味を持つようになり、とりわけギターを好んだ。弱冠13歳にして、奨学金を得てアンシンソン国立大学音楽学部に通い、  
バラグアイの歴史上で最も若い大学生となった。大学では音楽の他、数学やジャーナリズム、文学の分野でも教員から称賛を浴びた。21歳で大学を卒業し、本格的な演奏活動に入り、音楽活動と詩作に生涯を捧げる。また南米中を放浪し、ヨーロッパでも高く評価される。この曲は宗教的啓示に基づいて作曲したとされ彼の最高傑作である。



## Anna Koch Guitar Recital

### アンナ・コッホ ギターリサイタル



日：2008年7月4日（金）  
開場：午後6時 開演：午後7時  
場所：浦添市産業振興支援センター  
結いの街「大研修室」

主催：OAGS（オージス～沖縄ギター芸術協会）  
<http://nakagusuku.cool.ne.jp/guitar/>

## \*\*\*\*\* プ ロ グ ラ ム \*\*\*\*\*

### 1. リュートの為の3楽章 ニ長調 BWV998 / J・S・バッハ

I.プレリュード II.フーガ III.アレグロ

### 2. ティエント / M・オハーナ

### 3. 3つのスペイン曲よりバッサカリア / J・ロドリーゴ

### 4. ロンドイ短調Op.2-2 / D・アグアード

### 5. ヴァイオリンの為のファンタジイ第1番変口長調 / G・F・テレマン

I.ラルゴ II.アレグロ III.グラーヴェ IV.アレグロ (カルロ・マルキオーネ編)

～～～休息～～～



### 6. リュートの為の2作品 / J・ダウランド

#### 1. ファンシイ

#### 2. 高貴なるロバート卿へのガリアルダ

### 7. 豪い無く逝く人達へのノクターン / R・リーム

### 8. 大聖堂 / A・バリオス

I.プレリュード II.アンダンテ・レリギオーゾ III.アレグロ・ソレムネ



### アンナ・コッホ (Anna Koch)

1982年ドイツのマインツに生まれる。9歳から、マインツのコンセルバトリウムにおいて父であるギタリスト、ミヒヤエル・コッホにギターを学ぶ。10代でドイツ国内で最も重要な青少年のための音楽コンクール「ユーゲント・ムジツィエルト」において最高満点を得て優勝するなど、国内外の多くのコンクールに入賞。ソリストとして、またオーケストラや室内楽団との共演でヨーロッパ各地で活躍、ラジオ、テレビに出演している。

成長のさまざまな段階で優れた指導者に恵まれ、2007年フライブルク大学および音楽大学を優秀な成績で卒業。現在シュトゥットガルト音楽大学のマスタークラスでさらに研鑽を積んでいる。また、高名なギタリストのマスタークラスにも積極的に参加している。ソリストとして、バッハから現代曲まで技術的にも音楽的にも非常に変化に富んだ幅広いプログラムで聴衆を魅了。室内楽の分野でも器楽、歌手の伴奏者としての信頼が厚く、共演者としてのオファーも多い。

## \*\*\*\*\* 曲 目 概 説 \*\*\*\*\*

### ◎リュートの為の3楽章 ニ長調 BWV998 / J・S・バッハ (1685年 - 1750年)

プレリュードーフーガーアレグロ

リュートはルネサンスからバロックにかけて歌の伴奏や器楽合奏には欠かせない楽器として大隆盛を迎えた独奏曲も数多く書かれています。しかし、弦の数が多いと演奏の難しさ、音量の不足など諸要因で衰退してしまい、ギターでリュート曲が演奏されてきました。近年になって古楽の復興に伴いリュートも復活を果たしています。偉大なる大バッハもリュート曲を作曲しており、ギタリストにとって重要なパートナーとなっています。

### ◎ティエント / モーリス・オハーナ (1913年 - 1992年)

モロッコの作曲家。アラブ、スペイン、ユダヤ人の混血（母方がスペイン人）。カサブランカに生まれ、スペインで音楽の基礎を学ぶ。パリで建築学を学ぶ傍らピアノ、和声法、対位法を学ぶ。大戦中は英軍兵士として従軍し、エジプトおよびアフリカ戦線を転戦。戦後、再びバルセロナで音楽を学ぶ。1947年の帰仏後は生涯をパリで送った。ドビュッシーからバルトーク、ウェーベルン、ニグロ・スピリチュアルまで多様な音楽に影響を受け、作風は多岐に渡るが、微分音を駆使した現代的な筆致を得意とする。

ティエントとは、誘惑する、打つ、検査する、反応を見たり、試したり、誰かを誘惑する意味のラテン語のtemplarが由来。



### ◎3つのスペイン曲よりバッサカリア / ホアキン・ロドリーゴ (1901年-1999年)

スペインの作曲家。3歳のときにジフテリアに罹り、完全に視力を失うにもかかわらず、芸術家として大成した。なかでも「アランフェス協奏曲」は最も有名なギター協奏曲となった。ギター独奏曲も作曲しているが、本人は熟練したピアニストであり、ギターは弾いていなかった為難曲揃いである。

### ◎ロンドイ短調Op.2-2 / ディオニシオ・アグアード (1784年 - 1849年)

スペインのギター奏者・作曲家。ギター古典派の大家で彼が書いた教則本は今日でも用いられている。40代でパリに進出し名声を得る。50代前半でスペインに戻る。易しい小品から大曲まで多くの作品を残し、とりわけ大曲では超絶技巧や左手の拡張を用いた為、弦長のより長い現代のギターでは難曲とされている。

